

海上輸送の重要性と船員の仕事を学ぼう！

小学生がフェリーの船内を見学

日 時	令和3年11月26日（金）9時30分～11時00分
場 所	津軽海峡フェリー函館ターミナル及びフェリー「ブルーハピネス」船内 （津軽海峡フェリー株式会社 函館市港町3丁目19-2）
対 象	函館市立中島小学校 5年生 17名
主 催	北海道運輸局函館運輸支局
協 力	津軽海峡フェリー株式会社



北海道運輸局函館運輸支局は、海上輸送の重要性と船員の仕事について知ってもらおうと、津軽海峡フェリー株式会社の協力を得て、函館市内の小学5年生を対象に海事施設見学会を開催し、同社フェリーターミナルの施設とフェリー「ブルーハピネス」の船内を見学しました。

見学前のバス車内で海外、国内ともに物資の輸送を海上輸送に依存している状況を函館港の例を示して説明を受けるとともに、今回見学するフェリーの船員の仕事や生活についての紹介を受け、海上輸送の重要性と船員の仕事について学びました。

見学では、最初にフェリーターミナルの各施設を見学した後、フェリーの車両甲板から徒歩で乗船し、船員の居住区やスイートルーム、ペット同伴ルーム等の客室を会社の担当者から説明を受けながら見学しました。

操舵室（ブリッジ）見学では、船員から航海のための設備などの説明を受けた後、児童たちは実際に計器に触れてみたり、舵を自動で動かす「オートパイロット」のハンドルを握って船長気分を味わったりして、普段は見るできない船の世界を楽しんでいました。

参加者からは見学中に様々な質問が寄せられ、海への興味が高まった感想も聞かれ、児童に船や海の仕事への興味を喚起する機会となりました。

